

「市長と語ろう未来の太宰府・ふれあい懇談会」(会議録)

行政区 五条台区

日 時 平成 20 年 11 月 21 日(金) 19:00 ~ 20:44

場 所 五条台公民館

出席者 (市 民) 15 人

(執行部) 13 人

井上市長、平島副市長、石橋総務部長、三笠協働のまち推進担当部長、関岡市民生活部長、松永健康福祉部長、古川上下水道部長併会計管理者、松田教育部長、白石議会事務局長

(事務局) 今泉経営企画課長、小嶋広聴広報係長、高原主任主査、大藪協働のまち推進課長、

会議内容 (進行：今泉経営企画課長)

- 1 開会あいさつ (経営企画課長) 19:00 ~
- 2 区長あいさつ (区長) 19:03 ~
- 3 市長あいさつ (市長) 19:05 ~
- 4 市職員自己紹介 (経営企画課長) 19:10 ~
- 5 「協働のまちづくり」について(協働のまち推進担当部長) 19:14 ~
- 6 「懇談」質疑・意見交換 (経営企画課長) 19:30 ~
(別紙)
- 7 閉会あいさつ (副市長) 20:43 ~ 20:44

| | 発言の主旨 | 回答 |
|------|---|--|
| 意見 1 | <p>区の老人会で出かけるときは、社会福祉協議会のバスを利用しているが、28名までしか乗れない。出来れば、社会福祉協議会のバスが足りないときに補助として、市が所有している2台のマイクロバスを使われていないときに貸してほしい。</p> | <p>(市長)</p> <p>以前他の行政区の質問でもありました。以前は貸し出しをしていることもありました。見方によっては市民の活動は、準公務と見れない訳ではありません。今はっきり言えるのは、市の主催事業で市民が参加する場合は、運行は可能です。</p> <p>五条台区の行事でバスハイクなどを行う場合は、運行業者との兼ね合いがあり、法規制があって制限しています。</p> |
| | <p>福祉のまちづくりの観点からも、コミュニティという意味で横の繋がりができる。民間のバスは高額であるし、市の主催としたときに、市の職員に同乗してもらうのはかなりの仕事量である。貸し出しが難しいなら社会福祉協議会にバスを払い下げしてほしい。</p> | <p>私も同じ考え方で、バスは乗れるだけ買って買い替えは行いません。現在の社会福祉協議会のバスも市から回したバスが1台あります。社会福祉協議会は民間に近いためゆるやかに出来ることから行っています。</p> <p>職員が随行することが条件かどうかは不明ですが、場合によっては自主的に行かれることもいいのではと思っています。</p> <p>全てに渡って随行が基本だとは思いますが、一緒に学ぶということは問題ないと考えます。</p> |
| 意見 2 | <p>小泉政権の三位一体の改革で地方交付税が削減され税源が委譲されたが、これにより、市の交付税はどのくらい減額になって、それを補う増収はどのくらいあったのか。マイナス面があるならばどのような支障があるか。行政サービスが低下した面はあるか。</p> <p>コミュニティの推進は、地域的解決があり方で、行政サービスが出来ない場合は、コミュニティによってそれぞれの区によって自主的解決出来る方向に推進できない</p> | <p>(市長)</p> <p>正に的を得た今日的課題のご質問です。太宰府市の財政力指数は、0.68です。三位一体の改革によりひも付きではなく自由に使えるように改革が行われました。</p> <p>結果は、良い面がたくさんあり、推進されるべきと考えます。国に任せきりで市町村が考えることを止めておったように感じます。平成12年以降地方分権により自己責任において決定することになりました。縛られることなく財源を自由に使って、市民のために仕事出来るシステムが必要だと思います。交付税について下がってきた分を所得税で補</p> |

| | | |
|-------------|---|---|
| | <p>か。例えば吉松区では各種団体が協働して資源回収を行い市役所に持っていくことで、普通の資源業者に買ってもらうより高い値段で、それを区が各種団体に助成する。これなどは、地域社会における良き地域課題解決の有り方である。</p> | <p>われ、市税は仕掛けもあって伸びて来ています。</p> <p>区画整理などの資本投下で固定資産税、住民税などの伸びです。小泉総理のときの状況は、考えた方がいいが実際にはそのとおりになっていませんが、自立して考える意味ではいい傾向になっていると考えます。地域においても分権をしていきたいと考え、コミュニティにある程度権限を与え、資金源を再分配しながらやっていきたいと思えます。新しい財源があるわけではないので、今までの事業を見直し、市民の皆さんに協議、決定してもらって各行政区の活動資金に出来るように行っていきたいと思えます。</p> <p>資源回収は各区でも行ってもらってますが、リサイクルの啓発の意味もあります。今そのようなまちづくりを目指してシステム作りを行っています。</p> |
| | <p>三位一体の改革は、国のがんじがらめではなくなったが、税源委譲は思ったほどきていないのか。</p> | <p>全国市長会、県市長会の中で論議したことが正におっしゃったことです。国の方も厳しいですので、最も必要とするサービスに如何に使えるかを考えていきたいと思えます。</p> |
| <p>意見 3</p> | <p>地域コミュニティで校区単位になるということだが、委嘱制度または組織はどのような形になるのか。</p> | <p>(市長)</p> <p>幹の部分だけ申し上げますと、今、44行政区長に委嘱をしています。35年前に遡ると、区長さんには今以上の権限がありました。行政の複雑化とともに限界が出てきて紛争なども生じました。それらは、行政が責任を持って処理し、今後は、区長さんは本来的な自治会の仕事をしていただき、行政はそれを後方支援するようなやり方です。44行政区での今までのやり方はなんら変わりません。</p> <p>自治会に流れていた資金を吸収するのではなく、よりダイレクトに自治会に流れる形を採っていきたいと思えます。</p> |

| | | |
|-------------|---|--|
| | <p>ケースによって異なるのは困る。新組織とどのような関係になるのか。</p> | <p>将来は、代議員制度を考えております。校区ごとに区長さんに集まっていただき協議をしていただきます。その中で防犯部会などネットワーク化していただき、災害が起きたときなどに機能するようにしていきたいと思えます。自らの考えでまちづくりをしていくことです。</p> |
| | <p>大きな括りでしないとできないことは解かるが、組織づくりなどよほど考えていただかないとひとつ距離が遠くなる。</p> | <p>良い方向で考えています。</p> |
| <p>意見 4</p> | <p>日中韓サミットが行われるとのことだが、歓迎行事はあるのか。</p> <p>今後、観光都市として、また九州国立博物館を利用しながら、国際会議やイベントを誘致してはどうか。これだけ優れた観光資源を持っている太宰府市であるので、今後の観光客誘致の方策があれば聞かせてほしい。</p> | <p>(市長)</p> <p>国立博物館の誘致により観光客が730万人を超えたことは、大きなことであったと思えます。それらをもとに「まちぐるみ歴史公園」としてまちづくりを進めていきたいと思えます。(画面説明)</p> <p>もともとアジアの外交の土壌があった大宰府が今回選ばれたことを財産として今後まちづくりを行っていく必要があると考えます。国立博物館では既に文化財修復学会、民族造形学会等は開催されています。</p> <p>市民にも開かれ、学ぶ機会がそこにあると思えます。これらにより観光客が増え、間接的に市が潤い、活性化に繋がるまちづくりを今後も進めていきたいと思えます。(画面説明)</p> |
| <p>意見 5</p> | <p>太宰府が好きで、また太宰府のネームバリューは高い。今後も住み続けるつもりである。</p> <p>今、市町村合併が進んでおり、市町村の合併を行うとコストが低減できる。市のさまざまな施策は、福岡市広域連合圏として考えた方がよいのではないか。福岡市太宰府区などの行政区単位も考えられ</p> | <p>(市長)</p> <p>一つの市で行うより、多くの市が集まった方が効率的です。現在の状況として、四市一町の合併を睨んでいます。人口は、四市一町合わせると46万人になります。</p> <p>現在は合併という形式ではありませんが、消防組合、火葬場、ゴミなど広域で行っています。火葬場については、平成21年度から新たに筑慈苑に変更になるのも3年がかり</p> |

| | | |
|------|---|---|
| | <p>る。福岡市広域経済圏として合併の動き、考えはあるのか。</p> | <p>で行い、協定書に調印しました。担い手が多ければランニングコストも下がるという思考で行っています。水道も同様です。</p> <p>広域行政は当然のご指摘だと思います。筑紫地区の首長の間で勉強会を発足させておりますし、将来の道州制も見据えて、市民の税金が安くてすむような努力を行っていきたいと思います。</p> <p>色々な市民の声を聞きながら行うべきと考えております。</p> |
| 意見 6 | <p>(人権) カレンダーが無くなった理由は、財政的な問題なのか。また来年度から予算化して作ってほしい。</p> | <p>(市長)</p> <p>カレンダーを止めた理由として、予算的なこともあります。行政の事務事業評価の中では、無用なものとは位置づけてないと思います。色んな面から一時中断しております。お金がないならば手作りで作ることを含めて平成 21 年度どうするのか考えたいと思います。</p> |
| | <p>道路の舗装がひび割れを見て、孫が「網の目」みたいと言った。五条台は、補修が行われていない。</p> | <p>(市長)</p> <p>【地域再生事業について画面説明】</p> <p>今後は自治会活動にも移行していく中で、区長さんとも協議しながら、優先順位を決めて行っていきたいと思っています。</p> |
| 意見 7 | <p>国道の話であるが、都府楼前駅を過ぎたところで一旦下がって君畑交差点前でまた上がって下がる。ずっと高架で行けば流れが良くなり、混雑が解消され、市民の生活も良くなる。高雄交差点も変則であるが、国の動きは無いのか。</p> | <p>(市長)</p> <p>国道 3 号南バイパスは、地元の要望で完成し、総合的な判断によって現在の形状になっております。今おっしゃったことのようになれば良いと思いますが、困難と思います。</p> <p>また、高雄交差点も懸案事項で、高雄川が溢れる要因のひとつにもなっております。那珂土木の主管になっておりますので、市としては要望をあげていくこととなります。</p> <p>緊急課題は筑紫野・古賀線の 4 車線化です。平成 21 年から 22 年にかけて完成する予定となっております。これには道路特定財源の問題があります。一般財源化されたら太宰</p> |

| | | |
|------|---|--|
| | | 府市は困ります。今も声を大にして言っております。 |
| | 水道工事などの後の復旧が悪い。指導できないか。 | (市長) それも把握しております。新規に舗装したところは、5年間掘削させないなどの措置が必要です。市民の方との連携も必要になります。 |
| 意見 8 | 一時避難場所としての公民館が危険である。公民館に避難するより自宅が安全といわれている。建替えできないか。 | (市長) 今まで大型事業に投資してまいりましたが、一定完了しましたので、今後は、福祉、教育に力を入れていけるようになります。 緊急避難場所としての公民館は、計画しておりませんが、まずは、学校、公共施設など不特定多数の方が集まる場所を優先してやっていく予定です。 公民館は、補助制度はあります。自治会の方で創意工夫しながら、計画的に行っていただいています。 |
| | 五条台は、まほろば号が通過しておらず、五条駅から 160 円かかる。同じ市民なのに不公平である。まほろば号を通してほしい。 | (市長) まほろば号は交通空白地域、高齢者など交通弱者について第一義的にやりました。 平成 21 年 4 月から高雄地域を考えておりますので、高齢者支援のために行きたいと考えております。その際には、五条台付近を通っていきます。詳細については、また協議させていただきます。 |
| 意見 9 | J R 太宰府駅のその後の進捗状況は。 | (市長) 太宰府駅は、「はじめに駅有りき」ではありません。面的整備を行っていく必要があります。J R 側の集客があるわけで、一部負担を求めていきたいと思っております。【画面説明】 きっちりした方策のもと、見通しを立てて必要ならばやっていきたいと思っております。 |